

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	幼児発達支援センター柏学園		
○保護者評価実施期間	令和 7年 11月 17日	~	令和 7年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	79名	(回答者数) 71名
○従業者評価実施期間	令和 7年 11月 17日	~	令和 7年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 16名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 1月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが楽しく通園し、保護者が安心信頼してお任せ下さっていること。 ※一人ひとりの子どもの発達をきちんと丁寧に評価し、興味関心の幅を広げていくことができるような遊びを提供していく。	療育の準備、展開、反省を繰り返すこと。 子どもの発達、評価に関する研修。 保護者とのコミュニケーションの取り方。 新しい遊びのメニュー開発。	職員の自己研鑽へのモチベーションを向上させることについての取り組み。
2	集団の療育と個別の療育を実施し、実際の場面を保護者に見ていただくこと。 ※家族の形や生活パターンが多様化する中で、多種多様な利用形態を準備していくこと。	保護者の生活パターンやスケジュールを把握し、療育への参加ができるように配慮すること。 連絡体制の強化と無理のないお誘いをしていくこと。	職員のコミュニケーションスキルをレベルアップしていくための研修。
3	地域の関係機関との良好な関係が構築できていること。 ※併行通園への取り組みと併行先施設との関係性の構築。	児童発達支援センター等機能強化事業を利用して、地域の幼稚園、保育園、認定こども園、学校からの要請があれば支援を行う。 市町からの要請があれば、乳幼児期の子どもへの発達相談や健診後のフォローアップ教室を実施する。	相談技術や保育所等訪問支援事業にも対応できる経験豊かな職員の育成。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援センターとして地域の核となり、地域福祉の向上に資する取り組みについて。 ※協議会への参加やこども部会の立ち上げなどを積極的に行っていくこと。	児童発達支援センターの機能が多様化していく中での職員の人数や様々な事業に対応できる人材の育成。	人材育成のための工夫を考える：OJT的な考え方で研修をしていく。
2	全職員が共有する時間の設定。 ※園内研修等、勤務時間外になってしまうこともある。育休明けの短時間勤務の職員等もあり、子どもへの直接的な療育時間以外で全職員が集まることが難しい。	児童発達支援センター等機能強化事業やその他委託事業、通園バスの添乗等業務が多岐にわたり、また、記録や療育準備などもある。	有効な時間の使い方を考える：ICT化を考える。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	幼児発達支援センター柏学園
------	---------------

公表日 令和 8年 1月 23日

利用児童数 79 (うち毎日通園38) 回収数 71 (うち毎日通園37) 割合 90% (うち毎日通園97%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	69	1	1	1	広場等広々としており、しっかり身体を動かして遊べていると思います。/教室が子どもの人数によっては少し狭いかな?と感じことがあります。/とくに遊び場が広くて、きれいで素晴らしいです。/問題ないと思います。/屋内、屋外ともに大きな広場があり、十分なスペースがあります。/	児童発達支援センターの設置基準はもちろんクリアしています。その上で、密度が高くなると落ち着かなくなるお子さんや遊具の貸し借りや順番待ちでトラブルになることもないわけではありません。園の中のどこをどう使って療育していくかを考え、スペースを有効に使う工夫をしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	65	1	1	5	担任の先生が4人いるのでとっても安心しています。/バスの人数を出来れば1人より2人の方が良いと思います。/手厚く見て下さり安心して通わせることができます。/先生たちの負担を考えるともう1~2人増えたらいいなと思います。/1クラスに4人の担任がいるので安心です。/	法定の職員数以上の職員配置にはなっています。保育士、児童指導員、作業療法士、言語聴覚士、看護師などを配置しています。ただし、「専門性」の定義が明確ではない現状もありますので、何をもって専門性を評価するのかということについて、もう少し深く考えてみたいと思います。通園バスの添乗については、年度初めや新人職員の研修中は、複数(2~3人)の添乗員で行っています。とにかく子どもたちが安全に通園バスを利用できるようにその都度考えていきます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。	69			2	問題ないと思います。/活動に合わせて教室や個室を使い分けられているので、わかりやすいです。/	平成31年2月に園舎を建て替え、エレベーターを設置しました。お子さんたちが安全で楽しく過ごせる環境、お子さんたちに分かりやすい環境であることを大切にしていきたいと考えています。ワンフロアごとにバリアフリーです。構造上2階層に分かれているため、連絡用のインターフォンや携帯電話で職員室との連絡ができるようにしています。放送設備を備えていますので、緊急放送等に使用できます。

適切な支援の提供	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	71			いつ行ってもとてもキレイです。/わたボコリ等は広いので仕方ないとは思いますが、それ以外はキレイだと思います。/はい。いつもきれいですし、季節を感じられる飾りつけなど親も楽しいです。/廊下が円形で中央部がガラス窓の吹き抜けのため死角が少なく安全にも配慮されていると感じます。/ /	療育終了後の清掃、消毒には力を入れていきます。教材教具の清掃消毒にも配慮しています。コロナウイルス、ノロウイルスなど様々なウイルスにそれぞれ対応するように看護師と相談しながら消毒をしています。気を付けて清掃していきます。
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	70			子どもの性格をすぐにかなり正確に汲み取っていただいて驚きました。/発語がないので写真を使ってコミュニケーションがとれるようにしてくださっています。/子どものことでアドバイスをしてください、いつも助けられています。/いつも相談させて頂きありがとうございます。/水遊びが好きなのですがプールに1度も参加していないのが残念でした。/そう思います。/とても理解されているし、専門的な知識や対応もしっかりとされています。/ /	今後も皆様のご期待に沿えるように研鑽していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	68		3	そう思います。/相違ないです。/ /	支援プログラムは令和7年3月にホームページに公表しています。引き続き、支援プログラムをお示ししながら説明していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	68		2	子どもに合わせて個別支援計画をいつも作ってくださいます。/きちんと話をする時間を作ってくれるのでその時に分かりやすく説明等もしてくれるので。/とても子どもの特性をよく理解してください、保護者にも分かりやすく説明して下さっています。/個別療育を増やしてたてのやりとりを強化してゆきたい。/そう思います。/保護者の要望も聞いていただいた上で客観的な視点で適切な計画を立てていただいている。 /	継続していきます。保護者同席で実施している個別療育の中で、保護者のニーズは伺いつつ、新版K式発達検査やKIDS乳幼児発達スケールなども、お子さんを客観的に評価していくためのツールとして使用しています。子どもの発達にポイントを合わせながら、保護者と一緒に考えたいと思っています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います。	64		6	懇談会の時にきちんと説明してくれるの大丈夫だと思います。/目標に入っていた。/そう思います。/年2回支援計画が立てられ、子どもの成長や変化に合わせて細やかな支援内容を都度設定されています。/ /	児童発達支援ガイドラインの内容と照らし合わせながら児童発達支援計画（個別目標）を作成しています。家族支援、移行支援等の言葉使いはしていませんが、柏学園の療育そのものに網羅していると考えています。言葉の使い方も含めて今後もしっかりと説明していきます。

	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	70			1	個別で担当の先生がしっかり考えててくれていると思っています。/ リュック背負えるようになったり、出来ることが増えています。/そう思います。/ 個別目標に合わせて、個別療育の内容や自立課題を考えて支援して いただいている。/	継続していきます。
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	63	3		5	工夫してくださっています。/ 毎回初めて見る教材を使われたり、多種多様なプログラムがあります。/	活動プログラムが固定化しないよう工夫していくとともに、各プログラムをどのような目的で設定し、実施しているのか説明していきます。
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	26	6	7	32	すみません。質問の意味が分かりませんでした。/ 特に必要ないのかなど 思っています。/	まずは自園での療育効果を高めていくために、療育の質を高める努力をしていきます。それとともに、それぞれのお子さんに合わせて移行支援に取り組んでいきたいと考えています。指定の保育園やこども園との交流は考えていませんが、一人ひとりの子どもに合った交流の仕方は考えていこうと思います。特に柏学園に毎日通園しているお子さんの交流については、慎重に考えていきます。併行通園で利用のお子さんにおいては、必要ないと考えています。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	67	4			はい。/ 規約の冊子をいただき、丁寧な説明がありました。/	丁寧な説明に努めています。
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	69	1	1		はい。/ 年2回の個別面談で半年間のまとめと新たな支援計画について、 しっかり説明していただけます。/	項目8と同様に今後も丁寧に説明していくように心がけます。

保護者への説明	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	68			いつも楽しみに参加させてもらっています。すごく勉強になります。/参加できることはないですが行われています。/ペアレントトレーニングが年数回あり、1年目、2年目、3年目と各年度で深化していく内容になっています。/	柏学園の療育内容についてはご理解頂けていると感じていますが、家族支援プログラムについては一層わかりやすく説明しながら取り組んでいくとともに、柏学園における家族支援プログラムとペアレントトレーニング等との関係を丁寧に説明していきます。ペアトレ柏学園版を作成し実施しています。たくさんの方にご参加いただきました。内容や実施方法等、改良できることはしていきます。ただし、個別療育の中で、同様のことはやっていますので、お仕事のため参加が難しい方も増えてきたように思いますが、個別療育には出席していただけないと良いのではないかと考えています。お父さんが参加されるご家庭も増えてきました。集団での研修や療育プログラムに関しては、無理な参加は強いていませんし、保護者の安心感や当園に対しての信頼感を大切にしていきたいと考えています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	68	1		お手紙に園でできたことなど共有してくださっています。/手紙や電話でしてくれるで安心しています。こちらから手紙や電話をしてもきちんと対応してくれるで安心です。/そう思います。/毎日の連絡帳と個別療育の際にも伝達と相談ができます。/	生活・活動の記録、年20回の個別療育（内2回は個別懇談）、年2回の家庭訪問、親子参加型の行事など、柏学園のすべてのプログラムは保護者とのやり取りを通してお子さんの成長発達を確認していくためのものです。共通理解に繋がるかどうかは別として、お子さんの状況を保護者と一緒に確認しながら子育てについて考えていただく機会になればと考えています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	69	1	1	定期的にというか、いつでも気になることがあったらすぐに相談にのって下さいます。ありがとうございます。/先生方の助言で薬を飲めたり、靴を新しくしても履くようになったりできるようになりました。/面談という堅苦しいものではなく、困った時に気軽に相談できています。/月2回の個別療育と年2回の個別面談があり、助言をいただいている。/	令和7年度も例年と変わらず、毎日通園の方には個別療育年20回、併行通園の方には10回、皆さんに個別懇談年2回を計画し実施しています。親子通園（参観日）は年10回実施しています。ペアトレ柏学園版（大人のお勉強会）年5回、就学についての学習会（年長さん向け）などを実施しています。お子さんの育ちは一人ひとり違っています。一人ひとりに合わせた働きかけを大切にしていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	71			いつも共感していただいてうれしいです。/満足しています。/とても寄り添った支援をしていただいている。いつも相談にのっていただきありがとうございます。/	ありがとうございます。今後もご期待に沿えるようにいたします。

等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	40	5	3	23 弟の発達でご相談させていただいた時も迅速に対応してくださいました。ありがとうございました。/兄弟がいないので兄弟同士の交流等はわかりません。/他の保護者の人と話すのはしたいけど難しい。仲良くなりたい気はあるのですが‥、きょうだい向けのイベントは分かりません。/仕事をしているため土日しか参加できないので保護者交流は土日に開催していただけると助かります。/父母会等はないですが、親子通園で保護者同士の交流があります。/保護者会はないですが、親子通園やペアトレで保護者同士が交流する機会はあります。/	父母の会はありませんが、保護者同士の繋がりはお子さんの療育を通して考えていただければと思っています。全員参加型の父母の会の活動にはリスクを伴うこともあるということも視野に入れ、乳幼児期の子育て期間中はできるだけ我が子の子育てに集中していただきたいと考えています。もちろん同じ悩みや不安をもつ保護者同士で学習会を行いたい等のご希望があれば療育の一環として計画していくようになります。ただしお子さんの育ちや育つ環境は一人ひとり違いますので、まずはそこに焦点を当てて個別療育には力を入れていきたいと考えています。未就園のご兄弟は、個別療育その他の療育場面には一緒に来ていただいている。特別なプログラムはありませんが、行事等では同じように参加してもらっています。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	68	1		2 活動の記録だけでなく、個別や親子通園等ご相談させていただく場面が多いためとても話しやすいです。/具体的な相談等はまだしたことはないが、親身になって対応していただけそう。/相談した際は迅速に対応してくださるので安心します。/連絡帳に書いたことについて、すぐにお返事をいただけるし、会った際にも気にしてお声かけしていただけます。/	相談や申し入れをしやすい雰囲気は大切だと考えています。お子さんや保護者が話しやすい場面を設定し、職員としては保護者の気持ちをくみ取ることのできる人になれるように研修をしていきます。園長、児童発達支援管理責任者、各クラスのリーダーが中心となり、相談や申し入れがあった場合に迅速な対応ができるよう常日頃より意思疎通を図り、報告連絡相談をきちんとしていくことができるチームになりたいと思います。	
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	67	1		3 そう思います。/少し情報伝達に漏れがあるかなと思う場面がある。/	お子さんや保護者との意思の疎通は、信頼関係が基盤にあるかどうかが大切だと考えています。そのためにも療育の質を高め、保護者に信頼してもらえるように努めています。緊急事態や一斉連絡のときには、Biz安否確認/一斉通報サービスという連絡システムを導入しました。	
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	56	6		9 月の前半の行事予定はもう少し早く知りたいと思うこともありますが、おおむね問題なしです。/かしわだより等で活動内容の発信あります。/毎月のおたよりで行事予定、会報誌で活動の様子が分かり、ホームページで自己評価等の情報が公開されています。/	新しいホームページになりました。更新していきます。	

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	67	2	2	不安等はありませんが個人情報の取扱について判断する情報がないのでどちらでもないという選択にしました。/問題ないです。/	個人記録、住所録、それらのデータが入っているPCやUSB等は職員室から持ち出すことを禁じています（持ち出す時には園長の許可が必要です）。職員室等には防犯カメラを設置しています。業務上知り得た情報は全て個人情報として捉え、家族といえども話してはならないということを年度初めの会議で毎年確認しています。また、退職する職員には秘密保持についての誓約書を書いてもらっています。今後も継続していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	57	4	10	園で感染症が流行っていたりした時にその状況が保護者にも分かるようになればいいと思います。/そう思います。/	各マニュアルは策定されていますので、それについて説明し、保護者に安心していただけるようにしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	65		6	避難訓練が頻繁に行われているようで安心しています。/定期的に訓練されていると思います。/毎月避難訓練されていることをお知らせで周知されています。/	一人ひとりのお子さんをどのように避難させていけばよいのかを年度初めにクラスごとに考え、一覧表を作り、園全体で把握しています。その上で月1回の避難訓練を実施しています。また、地震に備えての訓練も行っています。ある程度予測することのできる台風や大雪への対応も広範囲から登園していただいている皆様のことを考えて対処していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	66		5	そう思います。/	安全計画に則って子どもたちの安全には充分配慮していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	63		8	事故等ないからわかりません。/前例がない。/電話や連絡帳で教えていただけてます。/小さなキズでも、どのような状況でついたか毎回説明していただいています。/	怪我等がないように、環境を整え、子どもの行動を予測していくように職員間での連携も含めて支援していきます。また、事故が発生した場合の対処の仕方も職員間で共有していきます。

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	71			<p>いつも行くことを楽しみに通っています。/特に月曜日は休み明けの通園に張り切っているし、平日は特定の時間になると好きなことをしていても中断し、通園準備を始める。/瘤瘡が減り落ち着いて過ごせるようになってきています。/入園直後より、ずいぶんと慣れて安心感をもってくれています。/楽しみにしています。/一度も通園渋りをしたことがありません。/</p>	<p>安全で安心できる環境（職員の接し方も含めて）を作つて行きます。</p>
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	67	3	1	<p>通園準備を始める息子を見ていると本当に今の事業所を彼の幼稚園に選べてよかったですと感じる。/毎朝嬉しそうに走ってバス停まで行っています。柏に行くよと伝えるとリュックを背負ったり靴を自ら履いています。/柏学園が大好きで楽しく通っています。/いつも楽しく通園させていただいている。幼稚園と併行して通っていますが、柏学園がリフレッシュ（安心できる場）として月に数回利用させていただいている。/楽しみにしています。/通所を楽しみにしていてお休みだと泣いてしまうこともあります。/親子通園や個別療育でも楽しく活動しています。/</p>	<p>子どもたちの元気な姿（笑ったり泣いたり、怒ったりしょんぱりしたり）の中に、保護者の皆様の愛情やご苦労を感じながら、我々に何ができるのかを考えています。子どもたちの育ちを支えるなにがしかのお役に立てればなあと思います。子どもたちが意欲をもつて活動できる場をつくり、そして、自分を表現できる場を作つていただきたいと考えています。</p>
	29	事業所の支援に満足していますか。	71			<p>柏に通い始めてから成長を感じ嬉しく思っています。ありがとうございます。/いつもありがとうございます。今後もよろしくお願ひ致します。/いつも本当にありがとうございます。感謝してもしきれません。/大変満足しています。/色々と無理を聞いてもらいありがとうございます。/満足しています。/大変満足しています。いつも寄り添っていただきありがとうございます。/</p>	<p>いつもご利用いただきありがとうございます。行き届かないことも多々あろうかと思いますが、皆様からのご意見を伺いながら、質の高い療育を目指して参ります。ご協力に感謝申し上げます。</p>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	幼児発達支援センター柏学園				公表日 令和 8年 1月 23日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16		<p>基準は満たしているが、その日の出席人数により手狭になることもある。教室内のみではなくフロアの様々なスペースを有効的に使っていくよう工夫している。/利用人数によりスペースが狭いと感じることもあるが、机、椅子の配置などを工夫し、スペースを作るようしている。/他クラスとあそび場やおもちゃライブラリーが重なる場合は人数調整して利用している。/</p> <p>課題：子どもの活動意欲を満たし、動的静的な活動に合わせた場所や空間について</p>	<p>児童発達支援センターの設置基準は満たしています。教室、ホール、個別指導室、園庭、ライブラリーや廊下等のスペースを有効に使いながら、一か所の密度が高くなり過ぎないようにクラスのスケジュール等を調整していきます。1日にお預かりできるお子さんの人数は勿論考えていますが、やむを得ない理由で当日登園になられるお子さんもおられます。密度が高くなりすぎないように、かといって個別的な関わりばかりにならないように心がけ、スペースの有効活用を工夫していきます。</p>
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	16		<p>当日の利用人数によって他クラスと協力し、適切な配置になるようにしている。/職員が欠勤した場合はフォローし合っている。/欠勤などの場合にはクラス担任に関わらず全體として配置していく。/他の業務で抜けたり個別外来をしたりとクラスにいないこともあります。/</p> <p>課題：どうすれば限られた人員の中で効率的により良い療育が実施できるのか</p>	<p>法定人員はクリアしています。福祉分野での人材不足は今日的な課題となっています。今後も保育実習や教育実習を受け入れる中で福祉分野に目を向けてくれる学生がいれば、やりがいや充実感をしっかりと伝えていこうと思っています。育休制度や時短制度が充実することは望ましいことです。育児や介護が必要な職員が増えしていく中で、みんなで支え合う職場にしたいと考えています。福祉の現場で働く私たちだからこそ、お互いを思いやる姿勢を忘れてはいけないと思っています。全職員で確認していきます。複数担任制（1クラス4人体制）で取り組むこと、クラスの枠に止まらず全職員で全園児を支援していくこと、状況に合わせて臨機応変に出来る限りの支援をしていくことで療育効果を最大限に引き出したいと考えています。そのための研修を継続していきます。</p>
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	16		<p>一日のスケジュールを掲載。職員間で定期的に情報を共有している。/フロアはバリアフリー化されエレベーターも整備されている。/エレベーターが設置されている。/</p> <p>課題：子どもの行動特徴の捉え方、研修と周知について</p>	<p>環境的な要素で療育効果が薄い状態ではないと考えています。安全管理上、見渡しやすい構造であり、乳幼児期の子どもたちには構造化されています。各階ごとにバリアフリーです。必要であれば移動にエレベーターを利用することもできます。この環境を利用しながら、一人ひとりの子どもの療育をどのように進めていくかを試行錯誤していきます。また、構造化されていない環境に入った場合の行動予測もしていきます。</p>

業務改善	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16		<p>定期的に業者の方に入っていただき清掃している。/療育が終わった後、掃除をしている。汚れに気づいた際はその都度掃いたり拭いたりしている。/毎日療育後に清掃、消毒を行っている。定期的に清掃業者による掃除も行っている。/掃除が行き届いていないと感じることはある。気づいたら掃除するようにしているが螺旋階段のガラスが汚れたり埃があったりする。/日々の消毒に加え、定期的に業者により清掃が行われている。/</p> <p>課題：清掃時間、人員の確保</p>	<p>螺旋階段のガラス清掃等手が届かない場所や危険なところは、定期的に業者にお願いしています。療育終了後の掃除当番は決めています。併せて気づいた職員がその都度動き、整理整頓に気を配ります。教材教具の清掃消毒にも、より配慮していきます。</p>
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16		<p>体調や入眠に必要な静かな場所など、使うことができている。/お子さんからの要求であったり状態によっては使用している。落ち着ける空間としても利用。/子どもが集中して遊びたい時、少人数で穏やかに過ごしたい時、要望に応じている。/お子さんの状況や要求に応じて様々な部屋や空間を使っている。子どもの状態に合わせて静かな空間などを提供できるようになっている。/ごっこ遊びや感触遊びなど少人数での活動等にも必要に応じて使用させてもらっています。/</p>	<p>集団療育の場と個別療育の場、ホールやあそび場、園庭など必要に応じて使用できるようにいつも整えています。個別療育の個室が5部屋と個別相談室も利用することができます。子どもの発達と子どものその場の状態や気持ちを考えしていくことが大切だと思っています。</p>
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15	1	<p>気になることがあった時には話し合いをしている。/空き時間を見つけて職員間で話し合うようにしている。/全員参加が難しい場合には後日内容のすり合わせ等を行っている。/広く職員には難しいこともあるが、数名の職員で行っている。/</p> <p>課題：効率的な業務の進め方</p>	<p>日々の療育や行事等、より良い療育ための計画、実行、評価、改善の話し合いは実施しています。記録の時間や準備にかかる時間を少しでも生み出すことができるよう、時間をどう有効活用していくかを考えていきます。周りを見ながら目配り気配りができる人になるための人材育成研修を実施しています。職員の働き方の変化、改革が求められる時代になっています。これまで積み上げてきたことを効率的に継続していくための工夫をしていきます。</p>
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16		<p>毎年実施し、業務の改善に繋げている。/</p>	<p>保護者向け評価表だけに限らず、個別療育や個別懇談を年間20回実施していく中で、療育のことだけではなく、ご家庭のことや保護者からのご意見を伺う機会にもしています。色々なご意見については、その都度考えさせていただいている。毎年ご意見をいただいており、感謝し、今後に繋げていこうと考えています。</p>
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	1	<p>終礼時、業務内容の伝達や意見交換は日々行い、即対応していっている。/気付いた事はその都度伝えていくようにしています。/時短勤務のため園内研修等、参加できていないところも多いが、資料を配布していただけるのでそれを参考にしていきたいと思う。/今後実施してもらいたい。/</p>	<p>日々の細かな業務改善については、終礼や会議で申し合わせるようにしています。また、年に1回の計画会議では、業務分担を明確にし、責任者を設けてその業務が速やかに適正に行えるようにしていきます。療育全般のことについては、職員へのアンケートを実施しています。それをもとに研修を行っています。</p>
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	7	<p>第三者による外部評価は行っていない。/</p>	<p>現在は行っていません。今後については検討中です。</p>

10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16	様々な研修に参加し、学びを得ている。/1年間の園内での研修が計画されており、職員が外部の研修へ行く機会もある。/園内研修を年間20回程行っている。/外部の研修を受講し、新しい知識を取り入れると共に園内での研修も年間15回以上行っている。/園内研修を年20回程度実施している。外部研修も希望すれば受講することができる。/園内の研修、外部から講師を招いての研修を継続的に行っている。/研修の機会は多く勉強になる。/	園内研修を年間20回実施しています。職員自身学びたい外部研修があれば極力参加できるようにしています（希望を出してもらいます）。日々の療育を担任間、必要に応じて園長や専門職、児童発達支援管理責任者を交えて振り返り研修していくようにしています。終業時間を超えることもありますが、できる限り時間内に研修時間がとれるように工夫したいと考えています。
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16	ホームページに公表している。/	柏学園ホームページに公表しております。
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	16	各担任が一人ひとりの子どものアセスメントを行いニーズも加味して作成、クラス外の職員にも意見を求める客観的に考えていくようになります。/保護者のニーズを聞き、その内容や子どもの成長に合わせた支援計画となるようにしている。/	継続していきます。
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	クラス担任等、そのお子さんに関わる職員が集まり話し合いをしながら作成している。/子どもにとって楽しいこと、好きなことなど取り組みやすいものとなるよう工夫している。/	子どもの発達を適正に評価することや子どもを取り巻く環境を考慮し、計画を作成しています。複数担任制であり、児童発達支援管理責任者とともに話し合いをしながら行っています。
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16	常にチームとして行われている。/週案、月案などを用いて計画に沿った支援内容となるよう見直し取り組んでいる。/クラスごとに年間計画、月案、日案等を話し合いながら策定しています。/	継続していきます。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16	年に1回は新版K式発達検査、KIDSを実施し発達の評価を行っている。/KIDSや新版K式発達検査により定期的に子どもの成長発達について確認するようしている。/新版K式発達検査は年1回実施し、発達状況を確認している。/	一年に一回は、新版K式発達検査を実施し、KIDS乳幼児発達スケールは学期始めや、子どもの変化を感じた時等に行っていきます。子どもの発達をどう捉えていくのかは我々が常に考えていく最も大切なことだと考えています。日々の生活や行事ごとの参加のしかた、家庭での過ごし方や保護者との関係等いろんな情報を集め、総合的に考えていきます。
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	担任間で話し合い設定している。/個別療育、外来療育、保育所等訪問など実施している。/ガイドラインに示されている内容はもちろんのこと、クラス療育と個別療育、発達検査等の結果を通して子どもの状態を把握とともに、年25回の個別療育、年2回の家庭訪問、個別懇談を実施し保護者のお考えや療育についてのご希望、生活全般の困り感等について把握していくように努め、その上で支援内容を設定している。/	継続していきます。

21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	3	必ずはできないが出来るだけ気付いた事や質問など共有するようにしている。/全員揃うことがない日が多いため、毎日は行っていない。気になることはすぐ話すようにしている。/必ずではないが気になったところは聞いたりしている。/必ずではありませんが極力行っています。/毎日必ずではないが、気づいた時にその都度声をかけ、必要な場合は療育後や後日話し合う時間を作っている。/時間差勤務や外来等もあるので、毎日全職員でとはいかないが、話し合いに参加できなかった職員にも周知して連携を図るよう努めているように思う。/活動中の子どもの様子を振り返りながら「次はこうしてみよう」など話す機会を作っている。/気づいた点を共有し子ども理解を深めている。/できる限り話をしています。できない時はやりとり帳を使用しています。/	継続していきます。バス添乗や園外派遣の仕事もあり、全員が終礼に出ることが難しい場合もあります。必ず全職員が知っておかなければならることは伝言ボードや連絡ノートに記載して周知徹底を図っていきます。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16		個別療育や週案、家庭訪問の記録を記入している。/併行通園の子どもは経過記録に、毎日通園の子どもは週案、月案で記録している。/日々の記録、保護者との手紙のやりとり等を通し、子どもの成長把握にずれがないように気をつけている。/	例えば、医療・療育カルテや個人記録票等、園独自の記録フォームを作成しています。誰が読んでも分かりやすい記録を目指したいと考えています。継続していきます。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16		概ね6か月に1度見直しを行っている。/	子どもの状態が大きく変わった時は、その都度見直していきますが、概ね6か月に一回は必ず見直していきます。継続していきます。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16		保育所等訪問支援に従事している者が参画するなどより広く情報が交換できるようにしている。/園長、児発管、クラス主任が参画している。/出来るだけ現場スタッフの参画も進めたい。/先輩職員が参画されている。/児童発達支援管理責任者、または担任が参加している。/	児童発達支援管理責任者、園長、クラス主任で対応しています。相談支援事業所と時間の調整が難しいと感じていますが、出来るだけ参加していきます。継続していきます。
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15	1	健診後のフォロー教室、発達相談、療育相談、保育園や幼稚園への巡回訪問等に職員を派遣している。/	市町の母子保健事業の委託を受けてきたこと、児童発達支援センター等機能強化事業を受け、幼稚園や保育園への支援を継続してきたこともあります。地域の関係機関と連携することは重要なことだと考えています。医療に関しては、保護者経由での情報交換となりますですが、必要であれば保護者の許可を得て、直接連携させていただきます。継続していきます。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16		併行利用、移行の際は電話や見学などを行い、子どもの様子をお伝えしたり、見てもらったりして情報共有、相互理解を図っている。/丁寧にするよう心がけている。/併行通園を実施していること、保育所等訪問支援や施設支援、巡回訪問等を実施していることから、近隣の保育所やこども園、幼稚園とは連絡の取りやすい状況にはなっている。/	継続していきます。

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16		就学前に個別の記録を作成し確認してもらっている。/就学時においては就学先と情報共有を行っている。/電話や見学等で情報共有を図っている。/引き継ぎ等を実施している。/小学校側と理解が深め合えるように伝え方を工夫している。/	継続していきます。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	16	1	年10回、地域の児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所との研修会を実施している。/同じ町内にある事業所に向けての研修を実施し連携を図っている。/	地域の核として児童発達支援センターの機能強化に取り組んでいきます。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	16		外部講師を招いての研修を実施している。/新人、中堅それぞれ外部の研修に参加している。/	外部研修には極力参加できるように勤務体制を整えていきたいと考えています。新しい情報は常に意識しておくことが大切であり、外部研修を受けた職員からの報告も園内研修の材料にしていきます。また当園の職員が講師として参加する研修も多々あり、園内研修にも生かし、経験年数の浅い職員の知識の底上げをしていきたいと考えています。継続していきます。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	14	2	上司が参加している。/	理事長、園長、児童発達支援管理責任者、相談支援専門員等が出来る限り出席しています（協議会こども部会、子ども子育て会議、各市町の福祉計画策定会議など）。継続していきます。直接処遇の職員については、自立支援協議会の役割等の研修をしていきます。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパー・バイトや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	13	機会を設けることができていない。/併行通園で通っている子どもとの関わりはあるが、保育所等の子どもと関わる機会はあまりない。/併行通園をしている子どもは交流があるが、本園のみだと機会がない。/当園から地域の保育所や認定こども園、幼稚園に出向いて交流する機会は設けていません。/経験年数が少ない職員はその機会は少ないようと思われる。 課題：保育園、認定こども園、幼稚園との交流の是非について考える	まずは自園での療育効果を高めていくために、療育の質を高めていくように努力していきたいと考えています。その上で子どもに合わせて移行支援に取り組んでいきます。併行通園をしている子どもたちもたくさんおられ、通っている保育園、幼稚園とは連携していくようにしていきます。柏学園のみのご利用の方については、慎重に考えていきます。

33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16	お手紙やバス添乗の時、個別の時などにお話している。/お手紙のやりとりの中で気になることは、すぐ連絡を取るようにしている。/個別療育や電話での話などにて行っている。/個別療育や親子通園、毎日のお手紙で共有している。/日々の活動の様子はお手紙を使ってやりとりしていますが、それ以外に何か相談等あれば電話や面談などでお話する機会を設けています。/手紙や個別療育で伝え合っている。必要に応じて電話で話すことや話をする時間を設けている。/個別療育が2週に1回あり、その間に様子を伝え合ったり、月1回の親子通園、その都度電話等で共通理解のための機会を作っている。/日頃は保護者と子どもの様子を手紙で共有するようにしている。/	毎日の生活の記録や活動の記録を使って日々の家庭と園との情報交換を行っていきます。保護者との共通理解を深めるための場として個別療育、家庭訪問、個別懇談、親子通園等のプログラムがあります。継続していきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16	前後期にそれぞれ年長、年中、年少の保護者それぞれ行っている。/ペアトレを行っている。/ペアトレ(大人のお勉強会)を行っている。/多くの保護者が受けられるよう工夫したい。/個別療育や手紙でのやりとり、電話などで対応している。/	柏学園の療育の大きな柱として家族支援を考えています。柏学園としての家族支援プログラムについて研修していくとともに、ペアレントトレーニング等との関係を整理していきます。どういう形をとるかということは、保護者の状況や考え方等によると考えています。そのご家族の状況を考えて、最も効率的な療育を提供していきたいと考えています。継続していきます。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16	園内に運営規定は掲示している。/入園時に説明している。/	継続していきます。
36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16	保護者の方に毎年ニードを書いてもらい、子どもにできてほしいことなどの意向を確認している。/	継続していきます。
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16	個別療育や家庭訪問の際に行っている。/個別に説明し同意を得ている。相違があれば修正し再度説明している。/個別時や懇談時など支援計画の内容を説明する時間を設け同意を得ている。/個別療育や家庭訪問で説明する時間を作っている。/	継続していきます。
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	個別療育のなかでも行っているが、普段のお手紙のやりとりで確認し、連絡を取っている。/個別療育でお話が出たらクラスの職員にも共有し、上司に助言をいただいてから保護者にお話している。/個別療育、懇談、家庭訪問など以外でも相談がある場合は随時面談の場を作っていく。/手紙や個別療育などで保護者の方から出た悩みは手紙で返信したり電話連絡したり、個別療育の中で応えている。/個別療育や懇談等を実施している。/月に1～2回の個別療育や日々の手紙で相談できる体制はある。/	個別療育、個別懇談、家庭訪問等を通して子育ての悩み等にはタイムリーに対応するようにしています。必要に応じて園長や専門職との懇談を行うようにしています。継続していきます。

保護者への説明等	質問番号	回答文	回答用紙の行番	回答用紙の列番	回答文	
					回答文	回答文
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	8	親子通園やペアレントトレーニングを行っている。/親子通園で保護者同士が話している姿は見かける。/ペアレントトレーニング時や親子通園時等、保護者同士で会う機会はあると思われるが、積極的に交流する機会を設けているわけではない。/父母の会、保護者会という形のものはないが、親子通園や行事、ペアトレ等、保護者が参加する行事の中で保護者間の交流が見られる。/親子通園の時に保護者同士で話していることはあるが、父母の会等はない。/月1回の親子通園で交流してもらっている。/父母の会などはないが親子通園、ペアトレなどで保護者同士の交流が増えるようにしている。/保護者会はないが親子通園等で保護者が交流する機会は設けている。/	父母の会（保護者会）としての活動を通して得るものが多いと感じることが出来る人もいれば、保護者同士の関係が難しくなる人もいるという現実を踏まえ、我が子の育ちに敏感になる時期でもあることから、出来るだけ子育てに集中していただける環境を作りたいと考えています。クラス学習会や親子通園、行事等を通して、保護者同士の交流は継続していきます。個別療育や各行事、親子通園日の療育には、未就園のご兄弟はお連れ頂いても良いこととしております。継続していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16		相談の申し入れがあった場合は迅速に対応している。/その都度直接相談を受け、対応しています。/最も適した人が対応し、その後情報共有が必ずされている。/担任が受付窓口にはなるが、質問や相談によっては園長や児童発達支援管理責任者、専門職へ繋いでいけるようにしています。/園内に意見箱を設置し、苦情解決窓口の案内を掲示しています。/意見箱は設置しているが活用されたことはない。/相談等あった場合は速やかに対応するよう努めている。/できるだけ早く対応するようにしている。/	継続していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	16		かしわだよりで発信している。お仕事されている方から早く予定を知りたいということからお仕事されている方には先に手紙で知らせている。/手紙やカレンダー等の紙面においての情報は発信しているがSNS等の活用はしていない。/毎月初めに「かしわだより」を配布し、発信している。/毎月のかしわだより、給食だよりの発行。/HPやSNSはほとんど活用されていないと思います。/かしわだよりというおたよりを毎月、柏の芽という法人の機関誌を年3回発行しています。/	ホームページがあり、適宜更新していきたいと思います。月一回の発行になりますが、おたよりを出しています。緊急時にはBiz安否確認/一斉通報サービスという連絡システムを導入しています。継続していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16		気をつけています。/個人情報に関する資料は持ち出しが禁止されており、さらに防犯カメラに付いている職員室で管理されている。/	個人記録、住所録、それらのデータが入っているPCやUSB等は職員室から持ち出すことを禁じています。持ち出す時には園長の許可と持ち出し記録の記入が必要です。職員室には防犯カメラを設置しています。退職する職員には秘密保持についての誓約書を書いてもらっています。継続していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16		写真やイラストなど視覚教材の活用。外国人の利用者さんへの配慮をしている（メール、翻訳など）。/	継続して、個人に合わせるように配慮していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	15	1	ふれあい祭を年1回行い、地域の方を招いている。/ふれあい祭を行っている。/毎年法人全体で行事（ふれあい祭）を行い、地域の方を招待している。/園の周りの溝掃除を町内会とともに割り振って実施しています。法人ふれあい祭という行事を開催し、地域の方々を招待しています。/	継続していきます。

45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16	<p>マニュアルの策定は行い職員での周知や訓練は行っているが、家族等への周知はまだ不十分だと感じる。/感染症対策等、研修など実施。/通園バス乗車等に災害（地震発生時や津波が発生する可能性がある場合など）に見舞われた場合、対応方法として電話で指示を仰ぐことは前提として、何かマニュアルがあればよいと感じる。/研修を行っている。/感染症対応の仕方は周知しているが、嘔吐など想定したシミュレーションをもっとすべきだと思います。/</p>	<p>火災、地震時の避難訓練は実施していますが、防犯、不審者への対応や訓練も実施していきたいと考えています。BCP計画を策定し、それを基本に考えていきます。保護者へは、かしわだより（月1回発行のおたより）にて伝えていくようにします。大きな災害時の対応について、情報を整理しできることを事前に考えておきたいと考えています。事故（怪我）や感染症に関してもマニュアルは作成していますが、有難いことにここ数年、そこまで大きなことになっていないだけに、危機管理を十分にしていきたいと考えています。</p>
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	<p>毎月1回、地震、不審者、火災などいろいろな状況に備えて避難訓練を行っている。/月に1回避難訓練を行っている。/月に1回、火災や地震を想定した避難訓練を行っている。実施した際はかしわだよりでお知らせしている。/火災、地震の避難訓練の実施。/避難訓練や防災訓練を行っている。/BCPは策定されている。/</p>	<p>継続していきます。</p>
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	16	<p>確認を行いフローチャートを作っている。/確認、共有している。/事前に全職員に周知し、情報の変更があればそれも速やかに周知している。/年度が始まってすぐ、職員間で服薬、てんかんなど、マニュアルを作って確認している。/年度初めや変更、追加等があればすぐに周知するようにしている。/入園時に医療カルテへの記載、聞き取りを行い確認しています。/把握、共有している。/バスにも毎日確認をして薬（ダイアップ等）を持って行っている。/年度初めに確認、変更があればその都度報告、確認をしている。/定期的に状況を確認し、変更等あった場合にはその都度連絡し合うようにしている。/</p>	<p>全職員が確認し、継続していきます。</p>
非常時等の対応	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	<p>アレルギーの度合いによって個々に対応している。/除去食等の対応を行っている。/医師の指示書を提出してもらっている。/医師の指示書を提出していただき、それに基づいて対応している。/給食の受け渡し時、調理室の職員の方と給食の内容について確認をして受け取っている。/アレルギーのある子どもについては毎年、医師の指示書を提出してもらっている。/指示書をもとに除去食の提供、アレルギーのある子ども一人一人の専用のトレイと名札を使用している。/</p>	<p>継続していきます。</p>
	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16	<p>消防訓練を行っている。/</p>	<p>安全計画は作成しています。全職員に周知し、一人ひとりが意識をもつていくことを研修していきます。</p>

	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	I	バスでのシートベルトの着用や頸椎の弱い子、ヘッドギア着用など連携している。/	想定されるすべての場面において、家族との連絡、連携が速やかにとれるように考えていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16		終礼等で起きた事案について職員で検討し対策を考えることがある。/ヒヤリハットを作成している。/ヒヤリハットがあった場合、記録し共有、防止に向けた話し合いをしている。/ヒヤリハットに記入すると共に終礼等で情報を共有している。/ファイルにまとめ、周知している。/	継続していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16		虐待についての研修を行っている。/研修を行っている。/虐待についての研修を行い、個々に理解と対応のレポートを作成している。/虐待防止研修を実施。/	継続していきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15	I	通園バスを利用されるお子さんご家族にはシートベルトを着用することに対して了解を得ている。/通園バスのシートベルトの着用について了承を得ている。/どのような場合でも身体拘束は行わない。/記載し、説明を行っている。/研修の機会などもあり、自分なりに理解する場が設けられています。/保護帽、各種装具の必要なお子さんには、保護者の意向をもとに医師の指示を児童発達支援計画に記載している。/書面にて保護者に説明、了承後にサインと捺印という流れが徹底している。/	子どもの命を守り、安全に過ごすこと、子どもの最善の利益とは何かを深く追求し、保護者にも信頼していただけるように考えていきます。継続していきます。